

北九州市における ワーク・ライフ・バランス推進の取組



北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部

本日の話の流れ

★ 北九州市の紹介

- 1 ワーク・ライフ・バランスに関する本市の現状
- 2 ワーク・ライフ・バランス推進の取組経緯
- 3 ワーク・ライフ・バランス推進協議会
- 4 推進協議会の取組
- 5 市の取組
- 6 ワーク・ライフ・バランス推進の成果と今後の方向性

★ 北九州市について(概要)



福岡県北九州市

- 関門海峡に面し、九州最北端に位置する
- 昭和38年 門司市・小倉市・戸畑市・八幡市・若松市の5市が合併し、北九州市が発足。同年、政令指定都市に指定される。
- 推計人口 971,236人 (平成25年1月1日現在)
男性: 456,714人(47.0%) / 女性: 514,522人(53.0%)
- 市職員数 8,550人 (平成24年4月1日現在)
男性: 5,685人(66.5%) / 女性: 2,865人(33.5%)

最近のトピックス

「環境未来都市」
「グリーンアジア国際戦略総合特区」
ダブル選定(平成23年12月)
↓
本市が進める「緑の成長戦略」の
実現を加速



環境未来都市PR隊長に任命された「ていたん」

2

★ 北九州市について(市制50周年)



昭和38年2月10日に、五つの門司市、小倉市、八幡市、若松市、戸畑市が対等合併し誕生した本市は、平成25年2月10日に市制50周年を迎えます。

●主な記念事業

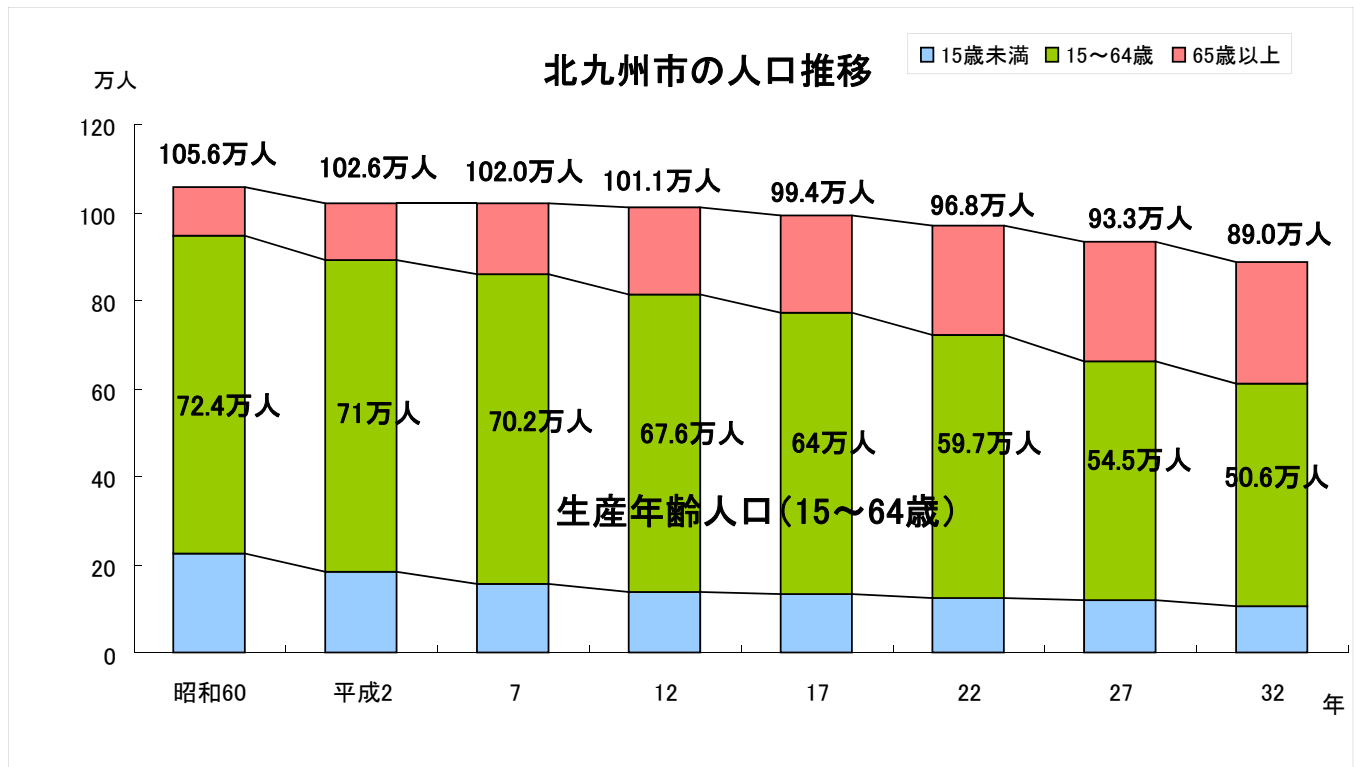
- ・B-1グランプリin北九州
(平成24年10月20日、21日)約61万人
- ・(仮称)仁川・旅順博物館の名品展(平成25年冬頃)
／いのちのたび博物館
- ・(仮称)北九州シティーマラソン(平成26年2月9日)
※北九州初のフルマラソン



結び合う ちから 未来へ 響きあう

3

★ 本市の人口・生産年齢人口の推移



【注】平成22年以降は財団法人九州経済調査協会による推計値(2001年~05年のトレンドで推計)

★ 本市の勤労者生活の概要



	項目	北九州市	全国
1	就業者数	42.0万人	5,961万人
	労働力率		
	男性	60.7%	64.1%
	女性	41.5%	44.7%
2	賃金給料が主な収入である世帯(単身世帯を除く)のうち世帯収入が400万円未満の割合	26.2%	19.7%
3	母子世帯の全世帯に占める割合	3.71%	2.3%
	父子世帯の全世帯に占める割合	0.53%	0.4%

資料: 1総務省国勢調査(H22)、労働力率は、15歳以上人口に占める就業者の割合

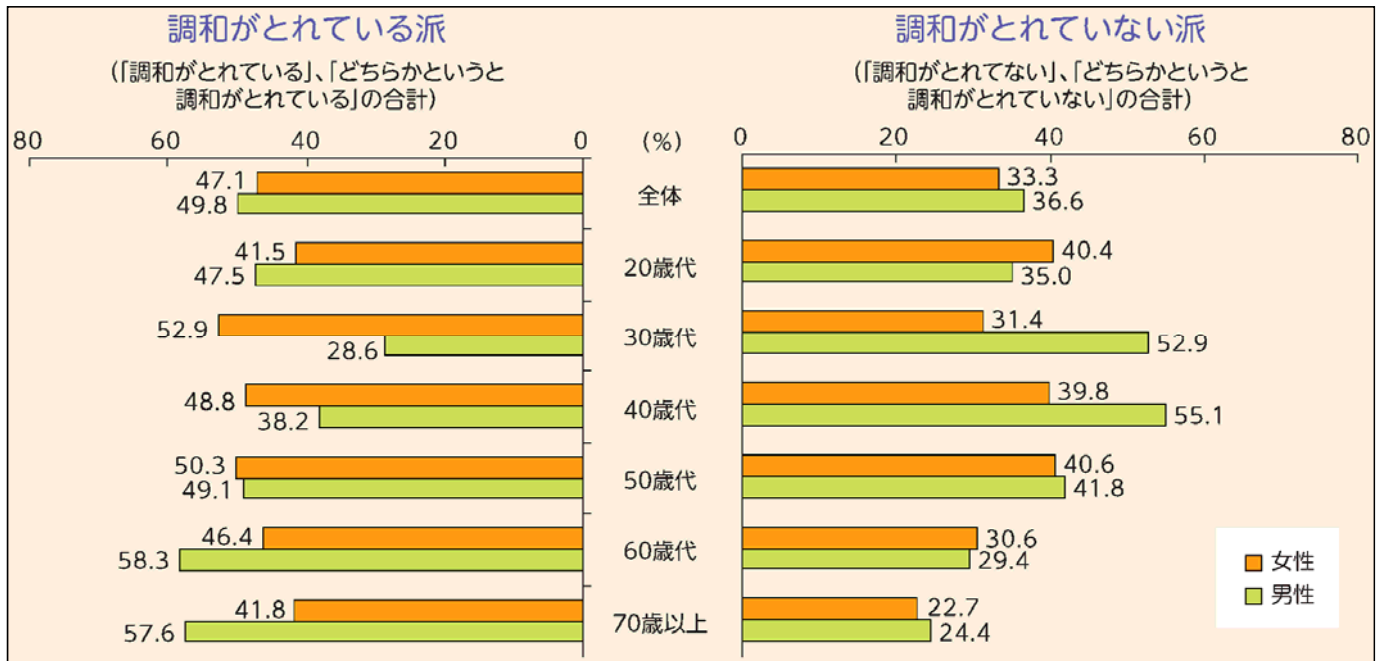
2就業構造基本統計調査(H19)

3北九州市母子世帯等実態調査(H23)、厚生労働省全国母子世帯等調査、住民基本台帳(H23)

1 ワーク・ライフ・バランスに関する本市の現状



◆性・年齢別ワーク・ライフ・バランスに関する現状認識



資料：北九州市の男女共同参画社会に関する調査(H23)

2 ワーク・ライフ・バランス推進の取組経緯



平成19年12月	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章 仕事と生活の調和推進のための行動指針 (平成22年6月新たな合意)	策定
平成20年3月	第1回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰	表彰式
平成20年9月	市議会において「ワーク・ライフ・バランスのまちづくり」推進に関する決議が全会一致で採択	
平成20年12月	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会設立	
平成21年9月	仕事と生活の調和推進宣言都市に選定(本市を含め7市区) (厚生労働省:「仕事と生活の調和推進宣言都市奨励事業」)	
平成21年11月	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン開始	
平成22年4月	ワーク・ライフ・バランス推進庁内連絡会議設置	

【推進協議会立ち上げの理由】

- ◆ワーク・ライフ・バランスの当事者は労使である。
- ◆ワーク・ライフ・バランスを地域に根付かせるためには、まちづくり、暮らしづくり の視点から、企業、労使、市民、行政が地域で一体となって進めることが望ましい。

【発起人】

- ◆北九州商工会議所会頭、連合福岡 北九州地域協議会議長、北九州市長

【会議開催】

- ◆年1回開催(実務者による運営委員会を年3回程度開催)
- ◆推進協議会として共同で行う事業を決定する場
- ◆団体トップが、自らの団体の取り組み(実績・計画)を発表する場

8

平成20年度北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会
(北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会の設立)



9

3-2 推進協議会の構成機関 (H24.4.1現在)



区分	機関名	区分	機関名
団体・企業等	北九州商工会議所	団体・企業等	NPO法人 北九州子育て・親育ちエンパワーメントBee
	社団法人 北九州中小企業経営者協会		社団法人 北九州青年会議所
	社団法人 北九州中小企業団体連合会		ライオンズクラブ国際協会337-A地区1R
	TOTO 株式会社		小倉中央ロータリークラブ
	医療法人 寿芳会 芳野病院	北九州市PTA協議会	
	連合福岡 北九州地域協議会	有識者	九州国際大学 特任教授
	NTT労働組合九州総支部		株式会社 西日本リビング新聞社 リビング 北九州 編集長
	九州電力労働組合北九州支部	行政	福岡労働局
住友金属小倉労働組合	北九州市		

10

4-1 推進協議会の取組



◆実態調査	事業所調査と従業員調査(H21) (従業員20人以上の事業所対象)
◆企業等の取組支援	企業向け講演会 推進アドバイザー派遣 北九州ダイバシティネットワーク 取組事例集の作成配布(モデル事業(H21)の実施結果など) 一般事業主行動計画策定セミナー(H22) 推進サイト(キタキューかえる宣言など)
◆広報啓発	キャンペーンの実施(市内一斉ノー残業デー、街頭啓発など)

11

4-2 企業等の取組支援 ①



企業向け講演会

年度	講師
平成20年度	P&G 牧野 光氏
平成21年度	佐々木 常夫氏
平成22年度	渥美 由喜氏
平成23年度	小室 淑恵氏
平成24年度	野老 真理子氏、渥美 由喜氏

12

4-2 企業等の取組支援 ②



アドバイザー派遣

- ◆従業員の子育て・介護支援や時間外勤務削減など、ワーク・ライフ・バランス推進に取り組もうとする事業所等に対して、「**ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー**（社会保険労務士）」を派遣し、必要な相談や情報提供等を行う
- ◆市内事業所であること、推進サイトで**キタキューかえる宣言**をすることなどが条件
- ◆1回2時間程度で、4回まで派遣可能
- ◆従業員300人以下の市内事業所は無料

ダイバーシティネットワーク（北九州人材活用研究会）

- ◆北九州市で、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍等に関して、先進的な取組を行っている企業等の人事労務担当者のネットワーク（TOTO(株)、(株)安川電機、芳野病院、北九州市役所等 13社が参加）

13

4-3 推進キャンペーン



◆構成機関等が一体となってキャンペーンを実施

11月を推進月間として、ロゴマーク(3種類)やキャッチフレーズ“**変えよう!働き方** **始めよう!充実生活**”を活用したPRを実施

◆「ワーク・ライフ・バランス推進大使」の協力

◆ライフ充実のための協賛事業

例:「学校開放週間」

学校→各家庭、企業→従業員の両方から周知する

◆市民周知のための工夫

個人に対する働きかけ

「ワーク・ライフ・バランス新聞」を小中学校等の全保護者へ配付(H24)

市民参加型

デリースローガンの募集(H22)、応援ソングのタイトル募集(H23)、オリジナル体操の作成と動画・写真の募集(H24)

話題性

尾木直樹氏のメッセージをポスター等に掲載(H23)
つるの剛士氏を応援サポーターに起用し、イベントを開催(H24)
アイドルグループLinQによる体操実演や街頭啓発(H24)



推進キャンペーン ①



応援サポーターのつるの剛士氏による特別ラジオ番組公開録音 (チャチャタウン小倉)

推進キャンペーン ②

街頭啓発
(JR小倉駅)



ワーク・ライフ・バランス体操PRイベント
(チャチャタウン小倉)

まつり起業祭八幡での
アイドルグループLinQ によるPRイベント



16

5-1 市の取組



◆企業等に対する働きかけ	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰 公契約における配慮
◆広報啓発	企業・市民等への出前講演 市民団体との協働による地域での啓発事業 市の広報紙、市政テレビ・ラジオ番組の活用
◆保育・学童保育の整備	保育所待機児童解消の取組(年度当初はゼロ) 放課後児童クラブ(学童保育)の全児童化 (H23年度)
◆市職員のワーク・ライフ・ バランスの実践	市役所が地域のモデルとなるべく率先して 取り組む 全役職者対象の集中的な研修(講師:渥美氏) (1,967名 H22) 時間外勤務の削減目標(H20~24で30%減)

17

5-2 北九州ワーク・ライフ・バランス表彰



- ◆「男女協働実践企業表彰」(平成14年度～)と「子育てしやすい環境づくりを進める企業・団体等表彰」(平成17年度～)を統合・整理し、平成19年度に「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」を創設
- ◆子育て支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に取り組んでいる企業・団体・個人を表彰し、その取組内容を広く市民にPRすることを目的として毎年実施
- ◆これまで計40社(人)が受賞 (平成19～24年度)
〔内訳〕 企業・団体…26、個人…14



18

5-3 受賞企業等の主な取組内容



男女がともに働きやすい職場づくり	産休・育休中の職員サポート(勉強会、情報誌の送付など) 子ども参観日等の実施 子育てワーキンググループの活動 子育て、介護、休暇等に関する制度の情報を積極的に提供 働き方や制度に関する相談ができる体制整備 など
休暇の取得促進	連続休暇の取得推進 休暇取得へのトップの働きかけ リフレッシュ、アニバーサリー休暇の付与 など
職場環境の整備(制度)	時間単位での有給休暇の取得 男性の育児休業・育児休暇の取得しやすい取組 など
職場環境の整備(施設)	事業所内保育所、保育施設の設置 リフレッシュルーム、休憩室等の設置 など
業務体制の見直し	ノー残業デーの実施 効率化と情報の共有化 など
地域社会への貢献	海外からの研修生の受入 事業所の地域貢献活動 小・中・高校などからの見学、職業体験の受入 など

19

5-4 公契約における配慮



◆子育て支援・男女共同参画の取り組みを行っている企業等には、加点方式で配慮している。

項目	内容・配点	要件・配点
物品等供給契約の入札参加資格審査	社会的責任・社会貢献(10点)の項目中、子育て支援・男女共同参画4点	①国・県・市の表彰受賞企業2点 ②次世代育成行動計画届出等2点
建設工事の入札参加資格審査	子育て支援・男女共同参画関係20点	①国・県・市の表彰受賞企業10点 ②次世代育成行動計画届出等10点
公共工事の総合評価方式での入札(試行)	子育て支援・男女共同参画の取組	①市の表彰受賞 ②次世代育成行動計画届出等

20

5-5 企業・市民等への広報啓発 ①



◆ワーク・ライフ・バランスは、誰に、どう役立つのか

個人 → 働きたい人が働ける、生活の質向上、
生き方の選択肢の拡大

企業 → **競争力の向上**
人材の確保定着
多様な人材の活用
従業員の意欲の向上
仕事の進め方の効率化

地域 → 現役世代が地域づくり

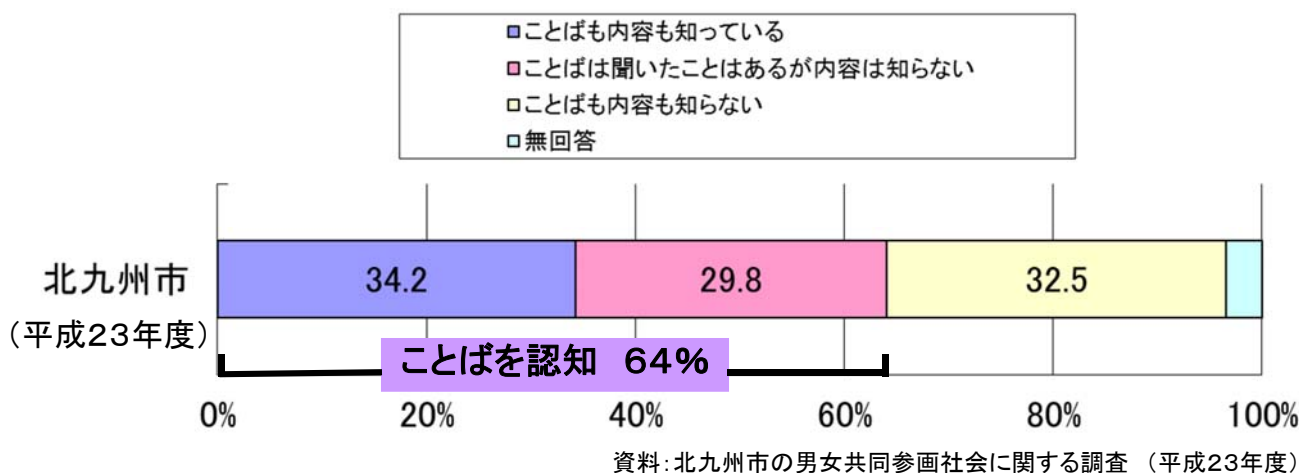
国 → 労働力確保で経済成長、少子化緩和

◆ワーク・ライフ・バランス実現のために、それぞれの立場でできること

- **企業:** 地域の一員として従業員の暮らしを大切に
- **働き手:** 効率よく働き、家庭、地域で責任を果たす
- **行政:** ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及啓発
保育などの基盤整備
市役所が自らワーク・ライフ・バランスを実践
- **市民:** 多様な他者の生き方を尊重、応援

6 推進の成果と今後の方向性 ①

◆成果① ワーク・ライフ・バランスの認知度の向上



◆成果②

本市拠点の2事業所が、九州で初めて、
ワーク・ライフ・バランス大賞優秀賞を受賞
(H24、日本生産性本部)

医療法人寿芳会 芳野病院

株式会社 TOTO



◆今後の方向性

ワーク・ライフ・バランス推進協議会を中心として、ワーク・ライフ・バランスの認知度のさらなる向上と、実践に結びつくような事業を検討・実施しながら、継続的に取組を進めていく。

ご清聴ありがとうございました



結び合う ちから
未来へ 響きあう

北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部